

# 品目改定の検討

## ◆支出が増加している財・サービス

- 支出が急増した商品は、いずれも新型コロナウイルスの感染予防や巣ごもりに関連した商品であり、感染予防に対する意識の高まりが影響していると考えられる。
- 表内①の品目について、新型コロナウイルス感染拡大後の2020年に増加したものの、足元の2021年においては減少しており、上位中分類指数の精度に影響を与えるほど代表性が高まったとは現時点では言えない。

表 支出が増加している財・サービス

	指数品目への採用状況	支出が急激に増加した商品
①	2020年基準の指数品目に採用していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェットティッシュ(※)【1.5→__→3.8→2.8】</li> <li>・除菌・消毒液(家事用)(※)【0.8→__→2.6→1.2】</li> <li>・手指等消毒液(※)【0.2→__→3.9→1.2】</li> <li>・体温計(※)【0.3→__→1.6→0.9】</li> </ul>
②	2020年基準の指数品目に採用済み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チューハイ・カクテル【9.6→10.7→14.9→15.5】</li> <li>・マスク(※)【3.2→__→26.5→16.4】</li> <li>・ゲームソフト【4.5→4.5→7.1→6.6】</li> </ul> など

注【】内の数値は順に2018年→2019年→2020年→2021年の万分比。

家計調査特別集計から算出した表内の「※」の品目については、2019年の数値を算出していない。

# 品目改定の検討

## ◆支出が減少している財・サービス

- 外国パック旅行費については、現在多くの海外ツアーが催行されていない状況。しかし、ツアー再開後、消費の回復が想定されるため、現時点での品目の廃止は適当ではない。
- それ以外の支出が減少している品目についても新型コロナウイルス感染拡大における出勤抑制や外出自粛の影響が含まれると考えられ、先行きが見通せない中で早急な廃止は適当ではない。

表 支出が減少している財・サービス

	家計収支項目	対応する指数品目	2018年	2019年	2020年	2021年
①	外国パック旅行費	外国パック旅行費	46.3	47.9	6.8	<b>0.2</b>
②	ネクタイ	ネクタイ	1.4	1.2	1.0	<b>0.8</b>
③	婦人用ストッキング	婦人用ストッキング	1.6	1.5	1.1	<b>0.9</b>
④	旅行用カバン	旅行用カバン	2.9	2.6	1.1	<b>0.9</b>

※ 数値は万分比

(出典)家計調査(二人以上の世帯)各年平均結果

- 以上の確認内容を踏まえ、今後の新型コロナウイルス感染症の影響及びこれらの品目について、今後も普及又は衰退の状況が定着し続けるか現時点では確認できないことから、中間年における見直しにおいては指数品目の追加・廃止は行わないこととする。

## ◆基準改定における品目改定の条件

### 追加

以下の①～③の基準を全て満たす品目を追加品目とする。

- ①新たな財・サービスの出現や普及、嗜好の変化などによる消費構造の変化に伴い、家計消費支出上重要度が高くなった品目
- ②中分類指数の精度の向上及び代表性の確保に資する品目
- ③円滑な価格収集が可能で、かつ、価格変化を的確に把握できる品目

### 廃止

以下の①～③の基準のいずれかに該当する場合であって、かつ、中分類の代表性を損なうと判断されない場合に廃止品目とする。

- ①消費構造の変化などに伴い、家計消費支出上重要度が低くなった品目
- ②その品目がなくても、中分類指数の精度が確保できる品目
- ③円滑な価格収集が困難となった又は価格変化を的確に把握できなくなった品目

※家計消費上「重要度が高い」とは、直近の家計調査の家計簿の記載内容を分析して特別集計を行った結果、家計消費支出に占める割合が、原則として1万分の1以上である場合をいう。